

令和3年度当初予算の概要
(事業別説明資料)

商工観光部



目 次

商工業活性化包括支援事業	3
市内事業者におけるD Xの促進	6
モノづくり事業者の育成支援	7
飛騨市推奨特産品の活用促進 *	8
ネットショップ運営人材の育成支援	9
行政ポイント発行による商店街の活性化	10
飛騨古川まつり会館を核としたまちなか観光の充実	11
地域資源を活かした体験コンテンツの魅力向上	12
飛騨みんなの博覧会の開催	13
ロケツーリズムの推進 *	14
観光バスツアーの誘致促進	15
合宿・大会等の誘致促進	16
四季の魅力を伝えるオンライントラベルの実施	17
シェアリング・エコミーの活用促進 *	18
フードダイバーシティの推進 *	19
飛騨市観光大使の活用 *	20
大学観光学部等との連携強化 *	21
アフターコロナに向けた観光受入体制の強化	22
まちのみだしなみ整備 *	23
観光人材の育成	24
観光客の動向実態調査	25

注：タイトル末尾に*印がある事業は所属ごとの概要資料のみに掲載しています（*印がない事業は主要事業編から再掲となります）

拡充 商工業活性化包括支援事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
30,000	ふるさと創生基金 30,000	補助金 30,000
(前年度予算 20,000)		

2 事業背景・目的

社会情勢の変化に伴う売上げの減少、事業者の高齢化や後継者問題といった多岐に渡る課題に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の商工業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした中でもピンチをチャンスと捉え、インターネットを活用した販路開拓や新たな商品の開発、起業等により、積極的に外貨を取り込もうとする意欲ある商工業者を応援するため、豊富なメニューから柔軟に選択できる包括的な支援制度を設けることで、市内商工業の振興を目指します。

3 事業概要

「新商品開発補助制度」の補助要件を見直し、初回生産に係る原材料費等を対象経費に追加することで、地域の特色を活かした新商品の開発を促進します。

①【拡充】飛騨市新商品開発補助制度

直近の利用状況を踏まえて年度あたりの申請回数を引下げ一方、1回あたりの補助上限額を引き上げ、新商品の初回生産時に大きな負担となる原材料費及び加工委託費を補助対象経費として追加します。

申請回数：年4回（四半期毎に1回）→ 年2回

補助率等：上限20万円（補助率1/2）→ 上限50万円（補助率1/2）

対象経費：研究開発に要する原材料費、アドバイザー費用等

→ 初回生産に要する原材料費・加工委託費を追加

②【継続】その他の各種支援制度

起業化促進、店舗拡大・立地促進、店舗改修、設備・機器導入、環境整備、知的財産保護など、市内商工業の振興に向けた豊富な支援メニュー（次ページに掲載）を提供します。

商工業活性化包括支援事業 補助制度一覧表

【拡充】新商品開発補助
<p>制度概要：土産品・工芸品等の新商品の開発及び販売を支援します</p> <p>補助率等：1/2以内・50万円 ※市が推進する施策に関連するものは2/3以内</p>
【継続】知的財産取得促進補助
<p>制度概要：知的財産権の保護や権利化を支援します</p> <p>補助率等：1/2以内・10万円</p>
【継続】宿泊施設立地促進補助
<p>制度概要：宿泊施設の新設・増設を支援し市内宿泊施設の充実を図ります</p> <p>補助率等：2/3以内・150万円、店舗等賃借料1/3以内・20万円/年</p>
【継続】起業化促進補助
<p>制度概要：新たな事業を興す起業家や新業態に挑戦する事業者を支援します</p> <p>補助率等：2/3以内・100万円、店舗等賃借料1/3以内・20万円/年</p>
【継続】中心市街地店舗拡大補助
<p>制度概要：中心市街地での新たな店舗の開設を支援し商店街の活性化を図ります</p> <p>補助率等：2/3以内・100万円、店舗等賃借料1/3以内・20万円/年</p>
【継続】サテライトオフィス開設支援補助
<p>制度概要：コロナ感染防止と多様な働き方の実現に向けたオフィス整備を支援します</p> <p>補助率等：1/2以内・100万円</p>
【継続】電子決済端末導入促進補助
<p>制度概要：非接触型決済に対応した電子決済端末の導入を支援します</p> <p>補助率等：10/10・5万円</p>
【継続】商店街みだしなみ補助
<p>制度概要：アーケードや装飾等の整備を支援し商店街の魅力向上を図ります</p> <p>補助率等：1/2以内・50万円</p>
【継続】展示会出展補助
<p>制度概要：販路開拓に向けた展示会等への出展を支援します（オンライン形式を含む）</p> <p>補助率等：1/2以内・30万円</p>

【継続】 Wi-Fi整備補助
<p>制度概要：店舗内で無料開放するインターネット環境の整備を支援します</p> <p>補助率等：1/2以内・30万円 ※市SSID利用は2/3以内</p>
【継続】 店舗リニューアル補助
<p>制度概要：魅力ある店舗づくりを支援し顧客満足度の向上を図ります</p> <p>補助率等：1/2以内・100万円 ※宿泊業は上限150万円</p>
【継続】 店舗バリアフリー補助
<p>制度概要：店舗のバリアフリー化を促進し誰にでも優しいまちづくりを推進します</p> <p>補助率等：2/3以内・200万円</p>
【継続】 WEB環境整備補助
<p>制度概要：自社商品の情報発信等のためのホームページ等作成を支援します</p> <p>補助率等：1/2以内・50万円</p>
【継続】 外国人観光客受入促進事業補助
<p>制度概要：看板やパンフレット等の多言語化を支援し地域の受入体制を強化します</p> <p>補助率等：1/2以内・10万円</p>
【継続】 空き店舗改修補助
<p>制度概要：空き店舗の流動化と魅力向上を目的とした店舗改修を支援します</p> <p>補助率等：1/2以内・150万円</p>
【継続】 経営セーフティ共済加入促進補助
<p>制度概要：倒産防止共済制度の加入促進を図り中小企業の振興に寄与します</p> <p>補助率等：初月1ヶ月分・20万円</p>
【継続】 インターンシップ補助
<p>制度概要：就労体験の受け入れを支援し将来の飛騨市への就職・定住を促進します</p> <p>補助率等：(1)市内の賃貸住宅等の家賃、関連費用 1/3以内 (2)市内の宿泊施設の宿泊料 1/3以内 (3)公共交通機関の往復交通費 1/2以内・3万円 (4)マッチングサイト・コーディネーター等費用 1/2以内・20万円</p>

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課	TEL	0577-62-8901	予算書	P.106

継続 市内事業者におけるDXの促進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
1,164	一般財源	1,164	委託料	1,164

（前年度予算 1,738 ）

2 事業背景・目的

市では、人口減少に伴う深刻な労働力不足に対応するため、平成30年度より市内事業者の魅力を再発掘し情報発信力の強化を図る各種セミナーを開催し、地域外からの人材獲得を目指す取組を進めてきました。

今般の新型コロナウイルス感染拡大により市内の雇用情勢は大きく変化したものの、建設業や介護・福祉といった業種では依然として人手不足の状況が続いており、新型コロナを契機としたニューノーマル時代に対応できる企業体質への積極的な転換を図ることが、人材獲得や経営安定化の面においても重要な要素となっています。

このため、令和3年度は、事業のスリム化・効率化に加えて柔軟性の向上にもつながるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進をメインテーマに掲げ、市内事業者がコロナ禍を生き抜くための学びと気づきの機会を提供します。

3 事業概要

DXの推進を中心に、社会情勢の変化を見据えたセミナー等を開催し、事業者に寄り添った個別支援を行います。

また、各種企業認定制度の取得を推奨するなど、時代に合わせて柔軟に変化し続けることができる名実ともに魅力的な市内企業の創出を図ります。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課		Tel.0577-62-8901	予算書	P.105

継続 モノづくり事業者の育成支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】				
3,850	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国庫補助金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">1,925</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">1,925</td> </tr> </table>	国庫補助金	1,925	一般財源	1,925	委託料 3,850
国庫補助金	1,925					
一般財源	1,925					
(前年度予算 3,850)						

2 事業背景・目的

市内のモノづくり事業者が全国規模の競争に勝ち残っていくためには、優れた工芸品、加工食品や地酒等の特産品の魅力と強みを事業者自身が理解した上で市外に発信し、地域外から顧客を獲得していくとともに、購入をきっかけにして飛騨市への訪問につなげるなど、ファンの獲得もあわせて進めていく必要があります。

このため、市では平成30年度から4年間の計画として、市内事業者の意識改革と経営力向上を図り、飛騨市の認知度や地域・商品ブランド力を高めて販路を拡大する「モノづくり事業者育成プロジェクト」を立ち上げ、徹底して事業者に寄り添いながら実証販売や商品・ブランド開発に取り組むことで、さまざまな試行錯誤の末、令和2年度までに46点の新たな商品が店頭に並んでいます。

計画の最終年度となる令和3年度は、コロナ禍を乗り越えるためのブランディングの推進と更なる認知度の向上に取り組むとともに、首都圏での継続的な販路を確立するため、東京都心部の既存店舗を活用した“連携型アンテナショップ”の開設を実施します。

3 事業概要

専門家による継続的な事業者訪問とアドバイスを通じ、作り手の思いが正しく伝わる商品づくりや新たな商品開発を行うことで、事業者の経営力やマーケティング力向上を促し、コロナ禍を乗り越え、市の魅力を発信できる強い事業者を育成・支援します。

また、東京六本木・青山に実店舗を構えるインテリア・ライフスタイルショップの協力を得て、これらの店舗内に「飛騨もの」商品コーナーを常設する“連携型アンテナショップ”を開設することで、首都圏における販売チャンネルを拡充し、より多くの人に市産品とその作り手を知り、購入していただける機会を提供します。



(本事業開発商品の統一ロゴ)

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課 Tel.0577-62-8901			予算書	P.105

継続 飛騨市推奨特産品の活用促進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
730	一般財源	730	需要費	331
			委託料	308
			その他	91
(前年度予算 729)				

2 事業背景・目的

市では、飛騨市内の優れた地場産品のブランド化、差別化を図り、市としての公式なPRを可能とするため、平成28年度から飛騨市推奨特産品認定制度を導入し、これまでに23商品を認定しています。

厳正な審査に基づく認定を受けようとすることは、それ自体が商品の話題性や認知度を高めるとともに、事業者にとっても自社商品により誇りを持ち、今後の意欲の向上にもつながることになります。また、コロナ禍を受けて需要が拡大しているインターネット通販においては、推奨特産品のロゴ表示があることで、自治体公認のお墨付き商品として消費者から好意的に受け入れられています。

引き続き魅力的な商品を認定することでラインナップの増加を図るとともに、ネットショップやふるさと納税を効果的に活用ながら、ふるさとの自慢である推奨特産品の市内外へのPR強化に取り組みます。

3 事業概要

コロナ禍においても商機が見込めるネットショップでの販売促進効果を高めるため、引き続き市推奨を冠するに相応しい優れた特産品の積極的な認定を推進します。

また、モノづくり事業者の育成支援事業 (P. 6) とも連動し、より希少性やこだわりの高い「飛騨もの」商品へのランクアップやふるさと納税返礼品への出展を促すとともに、市特産品のブランド体系を明確化することで、更なるブランド力の強化を図ります。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課		Tel.0577-62-8901	予算書	P.104

継続 ネットショップ運営人材の育成支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,442	一般財源	2,442 委託料 2,442

(前年度予算 3,242)

2 事業背景・目的

市では、市内の魅力的な特産品等の全国への販路拡大を図るため、平成30年度よりネットショップ運営人材の育成支援を開始し、令和元年度には「飛騨ネットショップ倶楽部」を立ち上げ、先駆者から新規参入者まで広く対象とした伴走・実践型支援に取り組んでいます。

ネットショップ倶楽部の参加者は開始当初の12事業者から19事業者に増加し、成功の目安とされる月商100万円達成は7事業者、前期比3倍以上の売り上げを達成した事業者も生まれるなど、本事業を通じて市内のネットショップ産業は大きく成長を遂げ、多くの外貨を獲得するとともに、近年のふるさと納税による多額の寄付にも繋がっています。

コロナ禍においても大きな強みを発揮するネットショップ産業の更なる発展を目指し、引き続き市内のネットショップ事業者同士がコミュニティを形成し、お互いに情報や戦略を共有しながら、切磋琢磨し高め合える環境づくりに取り組みます。

3 事業概要

飛騨ネットショップ倶楽部では、実績を上げているネットショップ事業者やEC・マーケティングの専門家を講師として、販売計画や進捗管理、顧客の心をつかむ販売方法の勉強などを具体的に学ぶワークショップやWEBサイトの操作方法を学ぶ勉強会を開催します。

また、引き続き新たな参加希望者を募り、各々のレベルに合わせた相談体制を敷くことで、徹底的に事業者に寄り添った育成支援を図ります。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課	TEL	0577-62-8901	予算書	P.105

新規 行政ポイント発行による商店街の活性化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
400	一般財源	400	交付金	400

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

市では、市民の皆さんと共に創る「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて、防災対策や健康づくり、まちづくりなどさまざまな市民参加型プログラムを開催しています。

これらの市が主催する事業の参加者に対し、市内商工団体が運営するポイントカード制度*に対応した行政ポイント引換券を発行することで、市民の事業参加へのインセンティブを与えるとともに、賢く貯めてお得に使えるポイントカード制度の普及促進により、コロナ禍において厳しさを増す市内商店街の活性化を図ります。

*令和3年1月現在 古川ポイントカード会：45店舗、神岡ポイントカード会：65店舗

3 事業概要

市主催事業の参加者に対し、市内商工団体が運営するポイントカード制度に対応した100ポイント分（100円相当）の行政ポイント引換券を進呈します。

引換券はポイントカード加盟店でポイントに交換することができ、交換時の「ついで買い」による消費促進効果が期待できます。

また、累積ポイントが各ポイントカード制度に定める基準（満点）に達すると、500円分のお買物券として利用することができます。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	2 商工振興費
所 属	商工観光部商工課 TEL0577-62-8901			予算書	P.106

【拡充】 飛騨古川まつり会館を核としたまちなか観光の充実

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
4,450	国庫補助金	2,225	委託料	4,450
	一般財源	2,225		
(前年度予算 4,500)				

2 事業背景・目的

令和2年6月にリニューアルオープンした飛騨古川まつり会館は、古川祭の特徴である動と静の魅力、祭りとともに作り上げられてきたまちの文化を体験できる飛騨古川観光の中核施設と位置付けていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、集客面においては十分なりニューアル効果が現れていない状況です。

このため、観光客等の古川祭に対する関心を高め、まつり会館を拠点としてまちなかへの回遊を促す効果的な集客対策を展開することで、新たな来訪者とリピーターの獲得に取り組みます。

3 事業概要

①【新規】呼び引き料理を味わうツアーの開催 (900千円)

古川祭の呼び引き料理を味わえる特別ランチと街歩きガイドをセットとしたミニツアー企画を造成し、Webサイト等を通じて団体・個人向けに提供することで、まつり会館から市街地の飲食店等への流れを生み出します。

②【新規】オンライン古川祭懇親会の開催 (550千円)

全国の祭り行事を応援する団体「マツリズム」との連携により、地元の祭り関係者とともに古川祭の未来を語り合うオンラインイベントを開催し、古川祭や地域文化への関心を高め、古川祭及びまつり会館を来訪するきっかけを創出します。

③【拡充】祭り屋台AR映像コンテンツの製作 (3,000千円)

スマートフォン等の画面を介して、あたかも絢爛豪華な祭り屋台が現実世界に現れたかのような体験ができるAR*コンテンツを制作し、まつり会館に常設展示される3台の祭り屋台に加えて、普段は中を見ることができない町内各地の屋台蔵を巡る新たな楽しみ方を提供します。

*拡張現実。ゲーム「ポケモンGO」などのサービスで知られる視覚的技術

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課	TEL	0577-73-7463	予算書	P.108

拡充 地域資源を活かした体験コンテンツの魅力向上

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,338	国庫補助金	440	委託料	1,338
	一般財源	898		

(前年度予算 1,700)

2 事業背景・目的

社会経済環境の変化により、国内の消費行動はモノ消費から体験の価値を求めるコト消費へ移行し、近年ではその時・その場にしかない盛り上がりに参加する「トキ消費」、商品・サービスに付随する社会的・文化的価値に共感する「イミ消費」といった新たなトレンドも生まれています。

市内には四季折々の表情を見せる美しい森林環境や安全で美味しい農産物など、コロナ禍でも受け入れられやすく、豊かな価値を持つ地域資源が数多く存在することから、これまでに発掘・造成を進めてきた食と自然を活用した体験型の旅行商品を更にブラッシュアップし、季節や期間が限定された価値ある参加型コンテンツへと進化させることで、消費者の知的好奇心や興味を刺激し、目的をもって訪れたい観光地づくりに取り組めます。

3 事業概要

①【拡充】飛騨市まるごと野菜体験プログラムの実施 (880千円)

農林部所管の飛騨市まるごと食堂と連動し、市内の農業生産者との連携により、農作業体験 (有機・伝承野菜)、畑での料理教室、地元食材尽くしの限定ディナーなどを提供する飛騨市みんなの博覧会特別プログラム「飛騨市まるごと野菜体験」を実施します。

②【拡充】自然体験プログラムのブラッシュアップ (458千円)

天生湿原や池ヶ原湿原を活用した自然体験プログラムをより多くの方に利用していただくため、飛騨の旅モバイル版への口コミ等の掲載による認知度向上や予約の簡略化、現地に精通したガイドしか知り得ない情報を楽しく提供するためのスキルアップなどに取り組み、満足度の高いプログラムへのブラッシュアップを図ります。

(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費	
所 属	商工観光部観光課	TEL0577-73-7463	予算書 P.107

継続 飛驒みんなの博覧会の開催

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】										
4,824	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">国庫補助金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,409</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">2,415</td> </tr> </table>	国庫補助金	2,409	一般財源	2,415	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">委託料</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">4,543</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td style="text-align: right;">275</td> </tr> <tr> <td>交際費</td> <td style="text-align: right;">6</td> </tr> </table>	委託料	4,543	役務費	275	交際費	6
国庫補助金	2,409											
一般財源	2,415											
委託料	4,543											
役務費	275											
交際費	6											
(前年度予算 4,666)												

2 事業背景・目的

昨今の観光スタイルは“モノ消費”から“コト消費”へと移り変わり、体験を通じて地域の人や文化を知ること、その地のファンになる傾向にあります。

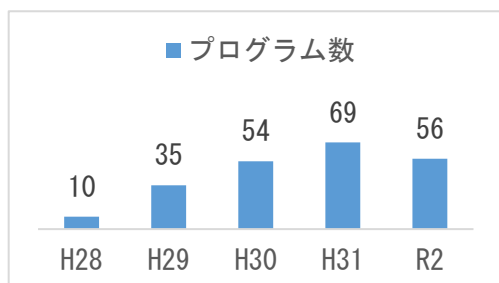
そこで、市民自らが仕掛け人となり開催する体験プログラム「飛驒みんなの博覧会」では、魅力ある地域資源の掘り起こしや市民の活躍機会の創出を通じ、元気で誇りある飛驒市を市内外に発信することを目指して、平成29年2月の10プログラムでのプレ開催からスタートし、プログラム数の増加や内容の充実を重ね、令和2年度にはコロナ禍においても安心安全なマイクロツーリズムとして56プログラムを実施しました。

今後も継続的に事業を拡充しながら各イベントの認知を高め、市民や観光客が楽しめる体験プログラムの提供により、滞在時間の延長と着地型観光の推進を図ります。

3 事業概要

令和3年度は、過去のプログラムのブラッシュアップを図るとともに、年間通して実施可能なプログラムを常設開催としPRできるよう体験マップを作成します。

これにより、飛驒みんなの博覧会を通じ市内外へ飛驒市の魅力を発信するとともに、観光商品としての定着化を目指します。



(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463	予算書 P.106

継続 ロケツーリズムの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,228	ふるさと創生基金	2,690	補助金	1,200
	一般財源	538	委託料	1,180
			その他	848
(前年度予算 2,416)				

2 事業背景・目的

映像作品の舞台として描かれている地域には、「聖地巡礼」と称して作品のファンが大挙して訪れるなど、いまやシティプロモーションにつながる施策として全国の自治体がロケ誘致活動を展開していますが、地理的な面から制作会社が多数所在する東京圏周辺の自治体にロケ地が偏る傾向があり、距離が遠い飛騨市へ誘致するためには、業界関係者との関係構築と的確な情報発信が不可欠となっています。

このため、ロケツーリズム協議会など、制作者サイドと強力なコネクションを有する団体との連携を深め、ロケ誘致につながる支援策を推進します。

3 事業概要

プロデューサーや映画監督など、映像制作関係者の招へい・受入支援などを通じて、関係団体とのリレーションを継続的に構築し、引き続きロケ地として選ばれる地域づくりに取り組むとともに、市内で行われるロケーション活動等に対して補助金を交付することで更なるロケ誘致を促進します。

- ・ロケ誘致補助金 対象経費の1/2・上限50万円
※条件によりインセンティブとして更に50万円を上乗せ
- ・映画上映会補助金 映像使用料 上限10万円／1作品（最大30万円まで）
施設使用料 対象経費1/2・上限10万円



(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費	
所 属	商工観光部観光課	Tel0577-73-7463	予算書 P.106

新規 観光バスツアーの誘致促進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,000	一般財源	1,000 補助金
		1,000

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

市では、天生・池ヶ原湿原を重要な観光資源と位置付け、業務委託によるバスツアーの造成やバスを直接借り上げての送客に取り組んできましたが、豊かな自然環境そのものだけでは観光商品としての訴求力が弱く、誘客・消費効果が得られにくいという課題を抱えていました。

その一方で、薬草や広葉樹などの地域資源を活用した様々な体験コンテンツが生み出され、カミオカラボの開設や飛騨古川まつり会館のリニューアルなど観光施設の魅力度が向上し、更には飛騨牛に代表される美味しい食が楽しめることから、旅の目的地としての飛騨市の評価は確実に高まっています。

こうした多彩な観光面の魅力を広く周知し、更なる誘客促進と消費拡大に繋げるため、飛騨市を訪れる観光バスツアー商品を造成する旅行会社に対する支援制度を創設します。

3 事業概要

市内での宿泊や観光施設等の来訪を組み込んだ団体バスツアー商品を造成した旅行会社に対し、バス代相当の一部を支援し誘客促進を図ります。

また、市内での宿泊を伴うツアーについては、インセンティブとして支援額を引き上げることで、更なる滞在観光の促進と観光消費の拡大を図ります。

補助率：バス1台につき3万円

(市内に宿泊する旅行企画の場合はバス1台につき2万円を加算)

補助条件：①飛騨地域外を出発地とする団体バスツアーであること

②バス1台につき参加者15名以上のツアーであること

③市内の有料観光施設等を1ヶ所以上利用すること



(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463	予算書 P.109

拡充 合宿・大会等の誘致促進

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】
13,000	ふるさと創生基金 13,000	補助金 13,000
(前年度予算 10,000)		

2 事業背景・目的

市では、冷涼な気候を活かした夏季のスポーツ大会・合宿をメインとしつつ、音楽合宿など年間を通じて市内施設を利用していただけるよう、地域資源等の様々な楽しみ方の発信に努め、積極的なコンベンション誘致を推進してきました。

引き続き全国から選んでいただける地域を目指し、宿泊に対する補助基準を見直すとともに、大規模な大会等に対する運営補助を創設することで、大会等の主催者への訴求力を高め、市内宿泊施設等の更なる利用を促進します。

また、コロナ禍において、豊かな自然環境といった“疎”の魅力が再評価されつつあることも踏まえ、修学旅行や遠足といった教育旅行にも誘致の幅を広げ、新規需要の獲得に取り組みます。

3 事業概要

①【新規】大規模大会・合宿等に対する運営補助の創設

年間延400人泊以上の大会・合宿主催者に対し、延宿泊者数に100円を乗じた額を運営補助として交付します。

②【拡充】宿泊費にかかる補助基準の見直し

宿泊費に対する補助基準を実人員(1,000円/人)から延宿泊者数(600円/人)に見直し、上限額を撤廃することで、市内での宿泊者数の増加を促します。

③【拡充】教育旅行を支援対象に追加

教育旅行(修学旅行、遠足、校外学習等)を新たに支援対象に追加し、大学や旅行会社等へのセールス活動を展開することで、新規需要の獲得を図ります。



(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費	
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463	予算書	P.109

新規 四季の魅力を伝えるオンライントラベルの実施

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,100	国庫補助金 550	委託料 1,100
	一般財源 550	
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響により様々な観光・交流活動が制約を受ける中、飛騨市ファンクラブ会員からの提案を受けて、令和2年10月に初めての試みとなるオンラインツアーを開催したところ、画面を介してでも参加者の皆さんとの確かな触れ合いが感じられ、実際の飛騨市への来訪にも前向きな声が多く寄せられました。

依然として世界的な感染拡大が続く状況下にあっても、飛騨市の大きな魅力である地域の人々との交流や何気ない生活の一コマの中に隠れた面白さをより多くの方に体感していただくことができるよう、四季折々のシーンに合わせたオンライントラベルを実施することで、全国から更なる飛騨市ファンを獲得し、リアルでの誘客拡大へとつなげる取組を推進します。

3 事業概要

飛騨市の四季をテーマに、生放送で市内各地のモノ・ヒト・コトを巡り紹介するオンライントラベルを年4回実施します。

参加者には旅のテーマにまつわる特産品等を事前に送付し、それらを味わいながら参加していただくことで、まるで実際に飛騨市を訪れて現地の方々と交流しているような感覚が得られる仕掛けを施します。また、ふるさと納税を入口にした観光誘客PR、オンライントラベルを契機としたふるさと納税の獲得など政策間の連携を図ります。

旅のテーマ (案)

- 春の訪れ 天生・池ヶ原湿原の散策、鯉の引っ越し など
- 夏の鮎 鮎釣り名人や川漁師に密着、採れたて夏野菜 など
- 秋の神岡 ガッタンゴー体験、紅葉の藤波八丁など
- 冬の暮らし 雪またじ体験、雪が生み出す工芸・食文化 など



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課	TEL	0577-73-7463	予算書	P.108

継続 シェアリング・エコノミーの活用促進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,100	一般財源	1,100 委託料 1,100
(前年度予算 2,200)		

2 事業背景・目的

市では、平成30年度より全国に先駆けて過疎地でのシェアリング・エコノミー*の取り組みを開始し、未利用空間のシェアやスキルシェアを目的とした民泊と鮎釣り体験モニター等を手掛け、宮川町杉原地区ではすでに4軒の民泊が稼働し、宿泊客から好評を博しています。

民泊や体験ツーリズムを通じて、地域の方々が多くの来訪者を受け入れ、地域外の人々との双方向のコミュニケーションを図ることで、自らの郷土への誇りや愛着といったモチベーションの高まりに繋がることから、引き続きここでしか体験できない地域の日常とあたりまえを提供する観光商品の開発を進めます。

*インターネット等を介して個人間で使っていないモノ・場所・技能などを貸し借りするサービス

3 事業概要

○ 地域資源を活用した里山体験事業 (1,100千円)

これまで事業を進めてきた宮川町杉原地区において、新たに設立された中間支援組織「元気創造グループ」を住民主体で運営していくための支援を続けるとともに、コロナ禍にあっても、これまでに培った関係人口との繋がりを継続できるよう、オンラインによる暮らしや食材の共有イベントを開催します。

また、他地区への更なる拡充を目指すため、神岡町山之村地区を主とした民泊や体験の可能性を地域の方々と協議し、受入や運営体制の整備を進めます。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 Tel.0577-73-7463			予算書	P.107

継続 フードダイバーシティの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
900	国庫補助金 450 一般財源 450	委託料 900

(前年度予算 900)

2 事業背景・目的

市では、年齢や国籍、障がいの有無に関係なく、誰もが気軽に楽しむことができる観光地を目指し、ハラルの規律を有するイスラム教徒やベジタリアン・ヴィーガンなどさまざまな食嗜好を持つ訪日観光客の受入れに向けて、食の多様性（フードダイバーシティ）への対応に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染拡大により、訪日観光客の回復がすぐには見込めない状況下にあります。当面のウィズコロナ対策として国内のベジタリアンやヘルシー志向の消費者に向けた訴求を強化しつつ、アフターコロナ期のインバウンド需要に備えます。

3 事業概要

訪日観光客等に対応した受入態勢の整備と情報発信を継続的に実施するとともに、コロナ禍において食の健康志向が高まりを見せている国内客の取り込みに向けて、ベジタリアン・ヴィーガンに対応した店舗メニューのブラッシュアップを図ります。

① ヴィーガンレシピの普及促進

ヴィーガンレストラン世界一に選ばれた東京・自由が丘の「菜道」のシェフによる飛騨市産食材を用いたオリジナルレシピを開発し、市内飲食店向けのアドバイス動画として配布することで、ヴィーガン対応メニューの普及促進を図ります。

② 店舗指導の実施

専門家によるメニュー開発等のアドバイス・指導を実施し、訪日観光客等の受入態勢整備を推進します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463			予算書	P.108

継続 飛騨市観光大使の活用

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
632	一般財源	632	報償費	400
			旅費	158
			その他	74
(前年度予算 540)				

2 事業背景・目的

市では、平成25年度より市内外の著名人など17名(団体)を飛騨市観光大使に委嘱し、豊かな歴史・文化、自然資源などの特性を活かした地域ブランドや観光情報の広域的な発信に努めています。

また、令和2年度には飛騨市応援ソング認定制度を設け、市をテーマに取り上げたオリジナルソングの制作を奨励し、既存の観光大使との棲み分けを図りつつ、市の露出拡大と訴求力の向上に取り組んでいます。

今後も引き続き、市と関りがあり高い情報発信力を持つ著名人等を有効に活用した広報活動を通じ、更なる観光振興とイメージアップを推進します。

3 事業概要

委嘱済みの観光大使の中でも、特に広域的な広報手段を持ち、市のイメージアップと認知向上に活躍していただける方を有効活用するため、イベント等に招へいし、観光客や市民との交流の機会を創出するとともに、その活動をSNS等で発信します。

また、WEBサイトでの飛騨市のおすすめ情報の発信のほか、オンラインを活用したツアーなども開催し、新たな顧客の獲得と更なる市の認知度向上及びイメージアップを図ります。

(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費	
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463	予算書	P.106

継続 大学観光学部等との連携強化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
800	一般財源	800 旅費
(前年度予算 800)		800

2 事業背景・目的

古川町市街地は、従来から比較的中高年齢層に好まれる観光地であることから、若年層の観光客再訪に向けた課題解決と将来へとつながる飛騨市ファンの獲得を図るため、平成30年度より立教大学を始めとする観光学を学ぶ学生のインターンシップを受け入れ、学生提案に基づく政策の実践、20代の若者に好まれる観光地づくりについて、事業者とも連携した施策展開を行っています。

令和3年度においても、積極的にインターンシップやゼミを受け入れ、新たな観光資源の発掘や観光客の滞在時間延伸など、若者の視点に基づく提案を施策に反映していきます。

3 事業概要

① 新たな観光資源の発掘と情報発信 (630千円)

立教大学、目白大学ほか東京方面の大学より学生10名程度を招へいし、飛騨市観光の新たな展開を推進します(個人でのインターンシップやゼミ・研究室単位での受入れを想定)。

② 祭屋台位置情報発信システムの本格運用 (170千円)

名古屋大学大学院情報学研究科と連携し実証実験を重ねてきた古川祭の屋台位置情報リアルタイム発信システムを広く一般観光客に公開し、古川祭を機能的に楽しんでいただける仕組みを提供します。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 Tel.0577-73-7463			予算書	P.106

新規 アフターコロナに向けた観光受入体制の強化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
5,000	一般財源	5,000	補助金	5,000

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

新型コロナウイルス感染拡大により観光産業が大きなダメージを受ける中、令和2年度は宿泊費助成による需要喚起や感染防止対策のための環境整備の補助を通じ、コロナ禍における市内の観光関連事業者の支援に取り組んできました。

依然として世界的な感染拡大が続き予断を許さない状況にありますが、その一方で、コロナ収束後の観光ニーズの変化を見越し、コロナ禍で得られた知見を踏まえた観光受入体制の整備を進めることも重要です。

このため、意欲ある事業者が自らの発案によって行う観光資源・コンテンツの開発やおもてなし態勢の強化などの取組を柔軟に支援することで、前向きな観光需要の取り込みを後押しし、アフターコロナ時代における市内観光産業の充実を図ります。

3 事業概要

○ アフターコロナ体制強化支援事業補助金の創設

アフターコロナにおける観光ニーズの変化（開放的・清潔な環境、少人数での来訪、ワーケーションなどの長期滞在等）への対応を目的とする事業者の様々な取組に対し、包括的に支援できる提案型の補助制度を創設します。

補助率：事業費の2/3以内・上限100万円（1事業者あたり）

※自主施工にかかる材料費や機械借上料は補助率10/10

※商工業活性化包括事業補助金の対象となる事業を除く



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課	TEL0577-73-7463	予算書	P.110	

継続 まちのみだしなみ整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
6,000	一般財源	6,000	委託料	2,300
			工事請負費	2,000
			需用費	1,700
(前年度予算 6,000)				

2 事業背景・目的

観光案内看板は、自家用車で訪れる観光客等の利便性のみならず、その地域のイメージを広く発信する重要な広告ツールです。

市では、平成30年度より既設看板類の計画的な修繕・撤去を進め、美観及び案内機能の向上に取り組んでいます。

令和3年度は、飛騨市が世界に誇る宇宙物理学研究関連のPR看板を設置するほか、過去に整備した屋外広告物台帳の更新を行い、引き続きまちのみだしなみの整備を推進します。

3 事業概要

神岡町谷地内（富山県境付近）において、市内で行われる最先端の宇宙物理学研究を紹介する看板を整備します。

また、平成18年度に整備した観光屋外広告物台帳について、修繕計画を反映した更新作業を行い、屋外広告物管理の更なる適正化に努めます。



(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課	TEL	0577-73-7463	予算書	P.107

継続 観光人材の育成

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,376	国庫補助金	500	委託料	1,000
	一般財源	876	その他	376

(前年度予算 276)

2 事業背景・目的

旅行目的の多様化に伴い、近年では個人的関心に裏付けられたニューツーリズムが一般的になる中、旅行者の形態・傾向を的確に把握できるマーケティング力を養うための人材育成セミナーを開催し、地域の観光産業における中心的な役割を担う観光人材の育成を進め、その結果を市内の関連事業者と共有し、一体となったまちづくりの体制を整えていきます。

また、飛騨市の大きな魅力である人々の温かさ（ホスピタリティ）に更なる磨きをかけ、市民一人ひとりからこの地に流れる物語が伝わるような、市民と来訪者との距離が近い「語る観光」を推進し、飛騨市らしさを活かした観光地づくりに取り組みます。

3 事業概要

① 観光人材育成セミナーの開催（1,000千円）

将来の観光・まちづくりをけん引していける人材を育成するため、観光協会員や関連事業者の方を対象に、観光動態データを活用したマーケティングの基礎知識などを学ぶワークショップやセミナーを開催します。

② 市民向け観光人材育成ツアーの開催（376千円）

市民一人ひとりが観光資源の背景にあるストーリーを知り、その魅力が伝えられるよう、まちなみ散策と自然散策の2コースからなる「観光人材育成ツアー」を開催し、地元ガイドからそれぞれの魅力について学ぶことで、ホスピタリティ能力の向上を図るとともに、観光ガイドへの理解を深め、ガイド組織の充実を目指します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課	TEL	0577-73-7463	予算書	P.106

【拡充】 観光客の動向実態調査

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
2,161	一般財源	2,161	委託料	2,061
			役務費	50
			需用費	50
（前年度予算 1,659 ）				

2 事業背景・目的

新型コロナウイルス感染症の影響により観光産業を取り巻く環境や旅行者の形態・傾向は大きく変化し続けており、ウィズコロナ、そしてアフターコロナを見据えた観光政策では、観光客の動向を的確に捉えて施策に反映させるマーケティング力がこれまで以上に重要になってきます。

市では、産学官連携によるIoTを活用した車両ナンバー認証システムの導入や駐車場の定点調査等により、地域別の流入台数や滞在時間といった観光動態の基礎情報の収集・蓄積に取り組んできました。

令和3年度は、これらの基礎情報に気象データやメディア露出の状況など様々なデータを掛け合わせることで、より詳細な観光動態の把握に努め、効果的な広告配信や時宜を得た観光キャンペーンの実施など新たな観光施策の展開を図ります。

3 事業概要

①【拡充】各種データに基づく観光動態の把握と分析（1,232千円）

令和元年度に整備した市役所前駐車場に流入する車両のナンバー認証システムを継続運用するとともに、気象データやSNS投稿・メディア露出、官公庁や民間企業が公開する様々なデータと掛け合わせて分析することで、より詳細な観光動態を調査します。

②【継続】観光動態にかかる基礎情報の収集（929千円）

飛騨市役所駐車場、若宮無料駐車場の定点観測、アンケートはがきによる動態調査、地域通訳案内士を活用したインバウンド観光客へのヒアリング調査により、引き続き基礎データの収集・蓄積に取り組めます。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課	TEL	0577-73-7463	予算書	P.106